

# 本州太陽シートの効果確認試験

JAきたそらち

林 伸昌



右：慣行区、左：試験区



余尺の差(上：慣行品、下：試験品)

### 試験目的

本州太陽シートの効果確認試験

### 試験作物 及び品種

水稻(ななつぼし)

### 試験資材 及び数量(規格)

本州太陽シート(3340mm×50m)

### 慣行資材

シルバーポリトウ(3600mm×100m)

### 栽培方法

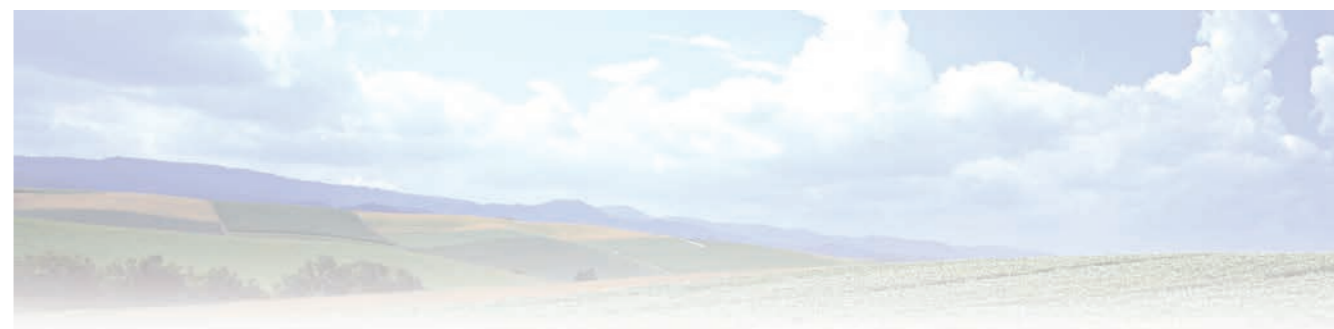
播種日	定植日
慣行区:4月20日 試験区:4月29日	慣行区:5月20日 試験区:5月21日

### 資材使用期間

4月20日～5月9日

### 試験区面積

315㎡



### 試験結果

- (1)作業性について(慣行品との比較)  
折り畳みになっているので広げにくかった。
- (2)作物の生育状況または、収穫への影響  
慣行区より遅れた。
- (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について  
【優位点】：剥がして、灌水する時間を省ける。  
【問題点】：梱包形態
- (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について  
次年度以降でなければ判断できない。
- (5)促成・抑制効果について  
遅れる傾向にあった。
- (6)保温効果について  
特に感じなかった。
- (7)雑草・病害虫の発生について  
無し。

### モニター感想

慣行品がシングル巻きなのに対し、試験品は折り畳みになっているのでハウス内で広げる際作業しにくかった。  
今回1棟のハウスで慣行区と試験区を設けて試験を行ったため、生育の早かった慣行区に合わせて温度管理をしなければいけなかった。  
そのため、試験区に遅れが出てしまったと思う。次年度は1棟ずつ管理してみたい。  
毎日の育苗作業の時間を短縮できれば、他の作業に時間をさけるので次年度も使用したい。

### JA担当者の感想(雨竜資材 上月課長)

慣行品のシングル巻きが主流の北海道で普及するためには、梱包を改善すべきだと思う。  
また、慣行品と比較すると余尺が無いので使用する場合は、事前に説明が必要だと思う。  
巾3.6m規格の需要もあるため、地域のニーズに合わせた規格を用意してほしい。  
今回試験品の効果は明確に分からなかったため、次年度も経過を見て判断したい。

### 今後の使用について

継続して使用したい。

- 1 高温対策
- 2 青虫忌避効果
- 3 調光フィルム
- 4 シート広幅
- 5 クリーンシート
- 6 マルチ
- 7 不織布
- 8 育苗資材
- 9 酪農資材
- 10 その他